芦教委報告第３号

令和８年度全国学力学習状況調査の報告について

標記の件について、別紙のとおり報告します。

令和８年８月２７日提出

芦屋市教育長　野　村　　大　祐

令和８年度　全国学力・学習状況調査結果

文部科学省が実施した、令和８年度の「全国学力・学習状況調査」について、芦屋市全体の結果を取りまとめましたので、お知らせします。

１　芦屋市全体の結果について

今年度の教科に関しての調査は、国語、算数・数学、英語の３教科で実施されました。本市の平均は、いずれの教科でも小中学校ともに全国平均を上回り、市教育委員会では、「評価できる結果」と考えています。

一方、質問紙調査結果では、本市児童生徒の学習への意欲や自己肯定感について課題が読み取れることから、Ashiya PEACE プロジェクトを継続して実施し、改善に向けて取り組みます。

２　調査の概要

（１）調査の目的

①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。

③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（２）調査の対象学年及び実施状況

対象学年	在籍数（人）	受検者数（人）
小学校６年生	７４９	７０４
中学校３年生	４７３	４１６
合計	1,２２２	１，１２０

（３）調査実施日　　令和８年４月２３日（木）～５月８日（金）

（４）調査の内容

① 教科に関する調査【国語、算数・数学、英語（中学校のみ）】

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下の通りとする。

・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

・知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

３　調査結果の公表について

（１）国・県の基本方針

本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえ、結果の公表にあたっては、序列化や過度な競争につながらないように十分配慮することとしています。

（２）本市の基本方針

調査結果を十分に把握・検討し、今後の教育施策や教育実践の改善に反映していくことが重要であるとの基本的な考えのもと、説明責任を果たすためにも市全体としての結果を示すこととしています。

４　本市の各教科の調査結果の概要

【全体の結果一覧】

校種	教科		国語	算数・数学	英語（聞くこと・読むこと・書くこと）	
小学６年生	全国	平均正答率	60.9	56.4		
	芦屋市	平均正答率	67	66		
		全国比較	110	117		
		評価	良好	極めて良好		
中学３年生	全国	平均正答率	63.9	57.0	平均 IRT スコア	503
	芦屋市	平均正答率	70	69	平均 IRT スコア	552
		全国比較	109	121	全国比較	＋49
		評価	良好	極めて良好	評価	極めて良好

全国比較について

（１）平均正答率について

全国の平均正答率を 100 とした場合の本市の数値。評価は 115 以上を「極めて良好」、105 以上 115 未満を「良好」、95 以上 105 未満を「おおむね良好」、95 未満を「課題あり」としている。

（２）平均 IRT スコアについて

全国の平均 IRT スコア(500)と比較し、評価は 550 以上を「極めて良好」、515 以上 550 未満を「良好」、485 以上 515 未満を「おおむね良好」、485 未満を「課題あり」としている。

※令和８年８月２７日（木）現在、英語「話すこと」の調査結果については、文部科学省より提供がされておりません

※英語「話すこと」の調査結果については、令和８年６月１０日付　事務連絡「令和８年度全国学力・学習状況調査における結果の提供及び 公表日等について」（文部科学省総合教育政策局参事官（調査企画担当）付学力調査室　発出）において、９月以降（秋頃目途）の提供であることが示されています。

【小学校　国語】

問題番号	設　問　の　概　要	平均正答率	
		芦屋	全国
２ 四	▲１【花山さんの文章の続き】の空欄に入る内容を、【集めた情報】から抜き出して考えが伝わるように書く	35.9%	33.5%
２ 二	▲２【花山さんの文章の一部】の下線部①に続く文として適切なものを選択する	52.6 %	48.9%

【課題と改善策】

▲１文章全体の構成や「具体と抽象」の対応関係を正しく捉えて推敲・選択することに課題が見られます。そこで、文章作成や読解の場面において、筆者の主張やまとめ（抽象）と、それを支える具体例（具体）の対応関係を意識させる指導を強化します。

▲２「複数情報からの必要な要素の精選」「引用のルール」「文字数」といった長文記述における記述精度や粘り強さに依然として大きな課題が見られます。そこで、単元の終末における言語活動において、「根拠＋自分の考え」の型を提示したり、条件を満たせているか相互にフィードバックし合う「推敲の場」を定期的に設定したりすることを検討します。

【小学校　算数】

問題番号	設　問　の　概　要	平均正答率	
		芦屋	全国
４ （３）	▲１　二次元の表から、前半にあやとりに参加する人数と、前半はかるたに参加し、後半はあやとりに参加する人数を書く。	28.4%	17.9%
２ （３）	▲２　ペンギンがいる二つの広場の混み具合を求める式の意味について、正しいものを選ぶ。	43.4%	36.1%

【課題と改善策】

▲１「縦の項目（前半）×横の項目（後半)」のように複数の条件が交差する複雑な表構造の理解に混乱が生じています。特に、「前半に特定の活動をした人の全体数」を求める際に合計欄や対応する行・列を正しく参照できなかったり、「前半Ａかつ後半Ｂ」という２条件が交差する位置の表す意味を的確に捉えきれなかったりする子どもが多いことが課題です。そこで、学級のアンケート結果や日常の活動データ（例：「係活動の希望」など）をもとに、子ども自らが二次元の表を作成・整理する活動を取り入れるなど、日常生活と結びつけながら取り組めるよう研究を進めます。

▲２「混み具合＝羽数÷面積」という公式の機械的な計算処理はできても、「1 ㎡あたりに何羽いるか」を表しているのか「1 羽あたり何㎡の広さがあるか」を表しているのかという“単位当たりの量”の定性的・構造的な意味理解が不十分な児童が存在します。特に、商が表す数値の意味（数が大きい方が混んでいるのか、小さい方が混んでいるのか）を日常生活の文脈と関連付けて論理的に捉え直す点に課題が見られます。そこで、単に式を立てて計算して終わるのではなく、「この式の中の数値はそれぞれ何を表しているか」「商の数値は『何の１あたり』なのか」を言葉や図を用いて説明させる活動を充実させます。

【中学校　国語】

問題番号	設　問　の　概　要	平均正答率	
		芦屋	全国
4 四	▲1 二つの例文を比べながら、擬態語「きっぱり」が表している具体的な様子と擬態語の効果を書く	40.9%	38.9%
4 二	▲2 国語辞典を参考にして、「ほうふつとさせる」と同じような内容を表す別の表現を文章中から抜き出す	42.5%	34.2%

【課題と改善策】

▲1「きっぱり」の意味を答えることや印象を述べることにとどまり、「なぜその擬態語が使われているのか」「対比された文と比べてどのような効果があるのか」という問いの意図や指定された条件を満たして論理的に記述することに難しさを抱える生徒が多く見られます。そこで、表現技法（擬音語・擬態語、比喩、対比など）を学ぶ際、「技法の名称を知る・意味を調べる」だけでなく、「その語が無い文とある文を比べて、印象や伝わり方がどう変わるか。」を対比・検討する活動の導入ついて研究を進めます。

▲2語句そのものの知識や単一の語の意味理解には対応できている生徒が多いものの、辞書の定義（「脳裏に思い浮かぶ」など）を共通の媒介として、文章中の別の言葉や文脈表現と結び付けて（抽象と具体の対応）意味を捉え直す力に弱さが見られます。そこで、単に文脈から言葉の意味を推測させたり、辞書を引いて意味を調べるだけでなく、「調べた辞書の意味（定義）」と「本文中の表現」を比較・照合させたりする言語活動を取り入れることを検討します。

【中学校　数学】

問題番号	設　問　の　概　要	平均正答率	
		芦屋	全国
9 （3）	▲1 「就寝時刻が23時より前の生徒と比べて、23時以降の生徒の方が睡眠時間が短い傾向にある」と主張できる理由を、悠真さんが調べたことの二つの度数分布多角形の形と位置を比較して説明する	39.7%	31.9%
8 （3）	▲2 図2において、証明する事柄における仮定となる辺や角の関係を選ぶ	48.1%	37.1%

【課題と改善策】

▲1グラフから「睡眠時間が短い傾向にある」という結論や全体的な印象を読み取ることはできていても、「二つのグラフの形がほぼ同じ」「一方のグラフが他方より左側に移動している」といった図表の決定的な特徴（形・位置）を明確な言葉で捉え直すことに課題を抱える生徒が多く見られます。そこで、複数のデータを比較する指導の際、単に「どちらが大きい・小さい」「平均値や中央値の比較」だけに終始せず、「グラフ全体としてどのような形・位置関係にあるか」を多角的に観察・分析する活動を充実させます。

▲2図形の合同条件や証明の書き方についての定着は見られるものの、「どの条件が仮定（作図手順や問題文から言えること）であり、どの条件が結論（これから証明したいこと）なのか」という論理的な構造の整理に難しさを感じる生徒が一定数存在します。そこで、定規やコンパスを用いた作図学習や証明指導の際、単に手順をなぞるだけでなく、「この操作によって、どの辺（角）とどの辺（角）が等しくなったのか（＝仮定）」を問いかけ、言語化・視覚化させる指導を充実させます。

【中学校　英語】

問題番号	設　問　の　概　要	平均正答率	
		芦屋	全国
１４	▲1 学校で普段行うことを１つ取り上げ、それについての説明を書く	45.0%	27.8%

【課題と改善策】

▲1 1 文程度の簡単な英文を書くことや単語・定型表現の記述には対応できている生徒が多いものの、「話題の提示」→「具体的な説明（いつ・どこで・何をするか・なぜ行うか等）」という論理的な文脈（まとまり）を保ちながら 2～3 文以上の英文を作成することに課題を抱える生徒が見られます。そこで、単元終末や帯活動（授業最初の数分間）において、日常の話題（日課・学校行事・趣味など）について話したり、文を書いたりする活動の導入を検討します。

５　教科の学習に対する子どもの意識の変化

設　問	教 科	小学校					中学校				
		R5	R6	R7	R8		R5	R6	R7	R8	
		芦屋			芦屋	全国	芦屋			芦屋	全国
勉強が好き（どちらかというと好き）	国語	60.3	61.9	59.4	62.2	57.4	58.3	65.1	60.5	51.8	57.2
	算数・数学	66.0	65.6	61.4	60.2	57.6	64.7	57.4	57.1	55.2	48.5
	理科		81.6	80.0				65.6	55.1		
	英語	60.7	57.5		56.9	66.7	55.3			54.9	51.2
授業はよくわかる（どちらかというとわかる）	国語	83.5	85.7	84.7	84.3	81.5	73.1	84.9	80.3	67.1	76.8
	算数・数学	81.9	87.5	83.3	80.0	77.5	81.4	80.4	77.3	84.7	74.2
	理科			90.5					63.5		
	英語		75.7				70.4			65.1	64.2
授業で学習したことは将来、役に立つ（どちらかといえば、役に立つ）	国語	88.0	91.6	89.2	87.4	90.4	85.5	88.0	86.5	81.2	88.2
	算数・数学	90.4	94.0	90.7	88.3	91.0	76.0	74.6	67.8	74.0	76.5
	理科			81.0					62.3		
	英語						90.3			90.0	87.6

小学校

・国語および算数において「勉強が好き」と回答した児童の割合が全国平均を上回りました。特に国語においては昨年度から数値が向上しており、日頃の「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善の成果が、児童の学習意欲として良好にあらわれています。

・英語（外国語）においては「勉強が好き」と回答した児童の割合が全国平均を大きく下回る結果となりました。

・国語・算数において、「役に立つ」と回答した割合が、昨年度より低下し、全国平均を下回っている点についても課題です。

中学校

・数学において「勉強が好き」とする生徒の割合が引き続き全国平均を大きく上回りました。また、英語においても、前向きな学習意欲が育まれている点が成果です。

・国語においては「勉強が好き」「役に立つ」と回答した生徒の割合が全国平均を下回り、昨年度と比較しても低下が見られました。

【指導の改善の方向性】

小・中学校を通じて高い学力水準を維持している本市の強みを活かしつつ、小学校英語および中学校国語で見られた意欲面の課題に対して重点的な改善を図ってまいります。 具体的には、小学校英語では ALT や ICT を活用しながら、「伝わる喜び」を味わえる活動を展開します。また、中学校国語では実社会の課題と結びついた探究的な学習や、一人一台端末を用いた協働的な推敲・対話の導入について研究を進めてまいります。こうした取組を通じて、自ら学ぶ意義を見出し、主体的に学びに向かう態度の育成を今後も推進してまいります。

６．『自分自身に関すること』、『他者とのかかわり』、『学校や先生に関すること』に関する意識の変化

設　　問	小学校					中学校				
	R5	R6	R7	R8		R5	R6	R7	R8	
	芦屋	芦屋	芦屋	芦屋	全国	芦屋	芦屋	芦屋	芦屋	全国
自分にはよいところがあると思う。	82.5	84.7	86.8	83.4	85.6	84.0	80.8	87.1	84.7	84.0
将来の夢や目標を持っている。	74.1	80.0	77.0	78.7	81.8	67.7	67.0	65.6	61.8	67.6
自分と違う意見について考えるのは楽しい。	67.4	70.1	78.1	71.0	77.9	79.7	78.0	79.1	78.5	78.6
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。	86.2	91.1	92.1	90.0	92.5	87.5	88.8	92.1	89.0	91.0
人が困っている時は、進んで助けている。	87.5	90.5	92.1	90.0	92.7	90.3	90.8	89.7	89.7	90.8
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	94.6	94.6	95.8	93.1	96.2	95.3	95.5	95.7	92.1	95.1
人の役に立つ人間になりたいと思う。	94.1	94.1	94.7	96.0	95.8	94.6	95.3	96.3	95.0	95.9
友達関係に満足している。	88.1	88.3	89.4	90.6	91.6	91.1	87.1	90.8	90.7	91.2
先生は自分のよいところを認めてくれていると思う。	81.3	87.0	90.4	88.4	91.4	83.1	86.6	90.5	91.0	90.9
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれている。	89.4	80.1	82.2	75.7	87.3	82.1	76.7	73.2	82.9	85.2
困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。	60.1	62.7	70.6	67.0	70.6	65.1	62.3	69.8	67.6	71.9
学校に行くのは楽しいと思う。	80.8	80.7	86.1	84.0	85.7	82.0	81.7	84.7	84.7	85.4

小学校

・「将来の夢や目標を持っている。」の質問項目においては、数値が上昇したものの、全国平均（81.8%）と比較すると依然として大きな差があり、低い水準にあります。

・「自分にはよいところがあると思う。」（昨年度 86.8%→今年度 83.4%）や「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。」（昨年度 92.1%→今年度 90.0%）、「自分と違う意見について考えるのは楽しい。」（昨年度 78.1%→今年度 71.0%）などの項目では、昨年度よりも数値が低下し、全国平均と比較しても低い水準にあります。

中学校

・「将来の夢や目標を持っている。」の項目（昨年度 65.6%→今年度 61.8%）および、「困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。」の項目（昨年度 69.8%→今年度 67.6%）については、昨年度から低下しており、全国平均と比較しても低い数値で推移しています。

共通課題

・質問紙の結果から、小中学校ともに「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を下回っていることが引き続き共通の課題として浮き彫りになりました。また、小学校を中心に自己肯定感や幸福感に関する項目で前年度から数値の低下が見られる項目があり、子どもたちが日々の学習や学校生活の意義を将来のキャリアや自己の成長と十分に結び付けられていないこと、また心理的な充足感や将来への見通しを十分に持てていないことが示唆されます。

【指導の改善の方向性】

現在市内で進めている探究的な学び研究推進チーム「ONE　STEPpers」の取り組みを通じて、個別最適な学びの観点から、一人ひとりのつまずきや進度に応じた支援体制を強化します。また、探究的な学びの観点から、地域や社会と結び付いた課題を扱い、他者と協働する喜びや、目的をもって学ぶ面白さを実感できる授業デザインを工夫します。

7　児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（全項目）

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
1	朝食を毎日食べている。どちらかというと食べている。	芦屋市	92.8	87.6
		全国	93.3	90.
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。どちらかというと寝ている。	芦屋市	79.9	81.4
		全国	82.8	80.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きている。どちらかというと起きている。	芦屋市	90.4	92.2
		全国	90.7	92.4
4	普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等で SNS や動画視聴などをしますか。（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
5	家では主に日本語で話している。	芦屋市	94.0	96.9
		全国	96.6	97.5
6	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
7	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
8	自分には、よいところがある。どちらかといえばある。	芦屋市	83.4	84.7
		全国	85.6	84.0
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。どちらかというと思う。	芦屋市	88.4	91.0
		全国	91.4	90.9
10	将来の夢や目標を持っている。どちらかというと持っている。	芦屋市	78.7	61.8
		全国	81.8	67.6
11	人が困っている時は、進んで助けている。どちらかというと助けている。	芦屋市	90.0	89.7
		全国	92.7	90.8
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	93.1	92.1
		全国	96.2	95.1
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。どちらかというとそう思う。	芦屋市	67.0	67.6
		全国	70.6	71.9
14	人の役に立つ人間になりたいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	96.0	95.0
		全国	95.8	95.9
15	学校に行くのは楽しいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	84.0	84.7
		全国	85.7	85.4
16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。どちらかというと思う。	芦屋市	71.0	78.5
		全国	77.9	78.6
17	友達関係に満足している。どちらかというと満足している。	芦屋市	90.6	90.7
		全国	91.1	91.2
20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか	芦屋市	66.9	64.2
		全国	69.6	67.5
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがよくある。ときどきある。	芦屋市	90.0	89.0
		全国	92.5	91.0
22	分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え工夫することができる。どちらかといえばできる。	芦屋市	80.4	80.0
		全国	79.4	78.2
23	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
24	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
26	学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
27	昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
28	放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
29	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
30	新聞をどれくらい読んでいますか	芦屋市	別項にてグラフ表記	
		全国		
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	78.0	71.2
		全国	80.1	72.3
35	これまでに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、週３回以上使用した。	芦屋市	56.7	68.3
		全国	68.8	78.2
36-1	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	77.0	84.0
		全国	79.1	84.8
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	80.9	89.3
		全国	84.9	90.9
36-3	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	68.0	75.4
		全国	69.5	69.4
36-4	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか（とてもそう思う・そう思う）	芦屋市	75.2	81.4
		全国	74.6	80.0

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
38	これまでに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。どちらかといえばしていた。	芦屋市	63.6	62.8
		全国	66.4	65.5
39	これまでに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。どちらかといえば取り組んでいた。	芦屋市	72.4	78.1
		全国	77.6	78.8
40	これまでに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。どちらかといえば行っていた。	芦屋市	73.7	68.7
		全国	73.4	70.8
41	これまでに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。どちらかといえばなっていた。	芦屋市	74.1	71.6
		全国	80.8	78.9
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができた。どちらかといえばできた。	芦屋市	83.3	85.9
		全国	85.7	87.0
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた。どちらかといえばできた。	芦屋市	79.9	85.9
		全国	78.4	87.0
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる。どちらかといえばできる。	芦屋市	79.8	81.1
		全国	80.8	78.0
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	75.7	82.9
		全国	87.3	85.2
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	88.3	90.4
		全国	91.4	92.4
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	77.1	78.1
		全国	79.9	80.8
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている。どちらかといえばできている。	芦屋市	76.8	84.3
		全国	79.7	81.7
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。どちらかといえば決めている。	芦屋市	79.7	85.9
		全国	81.5	84.5
50	学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	72.6	77.5
		全国	77.3	77.8

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。どちらかといえば取り組んでいる。	芦屋市	85.1	88.3
		全国	86.9	91.3
52	国語の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	65.1	46.6
		全国	60.4	51.6
53	国語の勉強は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	62.2	51.8
		全国	57.4	57.2
54	国語の授業の内容はよく分かる。どちらかといえばよく分かる。	芦屋市	84.3	67.1
		全国	81.5	76.8
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば思う。	芦屋市	87.4	81.2
		全国	90.4	88.2
56	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかよく伝えてくれる。たまに伝えてくれる。	芦屋市	72.0	61.4
		全国	78.1	73.0
57	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかをよく教えてくれる。たまに教えてくれる。	芦屋市	71.0	62.5
		全国	75.1	71.8
58小	国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている。どちらかといえば書いている。	芦屋市	82.2	
		全国	80.7	
59小	国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。どちらかといえばまとめている。	芦屋市	80.0	
		全国	78.3	
58中	国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。どちらかといえばまとめている。	芦屋市		74.2
		全国		84.8
59中	国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。どちからといえば見出している。	芦屋市		71.1
		全国		76.1
60	算数（数学）の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	60.6	55.2
		全国	60.1	48.5
61	算数（数学）の勉強は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	60.2	63.7
		全国	57.6	56.1
62	算数（数学）の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。	芦屋市	80.0	84.7
		全国	77.5	74.2

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
63	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば役に立つと思う。	芦屋市	88.3	74.0
		全国	91.0	76.5
64	算数（数学）の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている。どちらかといえば活用できている。	芦屋市	81.8	65.9
		全国	83.2	63.0
65	算数（数学）の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。どちらかといえば考える。	芦屋市	82.9	83.0
		全国	81.7	77.8
66	算数（数学）の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。どちらかといえば行っている。	芦屋市	68.5	66.4
		全国	63.0	60.4
67小	図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思う。どちらかというと役立つと思う。	芦屋市	89.2	
		全国	88.3	
67中	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができる。どちらかといえばできる。	芦屋市		77.8
		全国		68.4
69	英語の勉強は得意だ。どちらかといえば得意だ。	芦屋市	58.8	44.4
		全国	59.8	39.5
70	英語の勉強は好きだ。どちらかといえば好きだ。	芦屋市	56.9	54.9
		全国	66.7	51.2
71中	英語の授業の内容はよく分かる。どちらかといえば分かる。	芦屋市		65.1
		全国		64.2
72中	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。どちらかといえば役に立つと思う。	芦屋市		90.0
		全国		87.6
73中	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。どちらかといえばしたい。	芦屋市		42.2
		全国		34.1
74中	キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができる。どちらかといえばできる。	芦屋市		82.9
		全国		76.7
75中	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。どちらかといえばあった。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	芦屋市		46.3
		全国		36.6

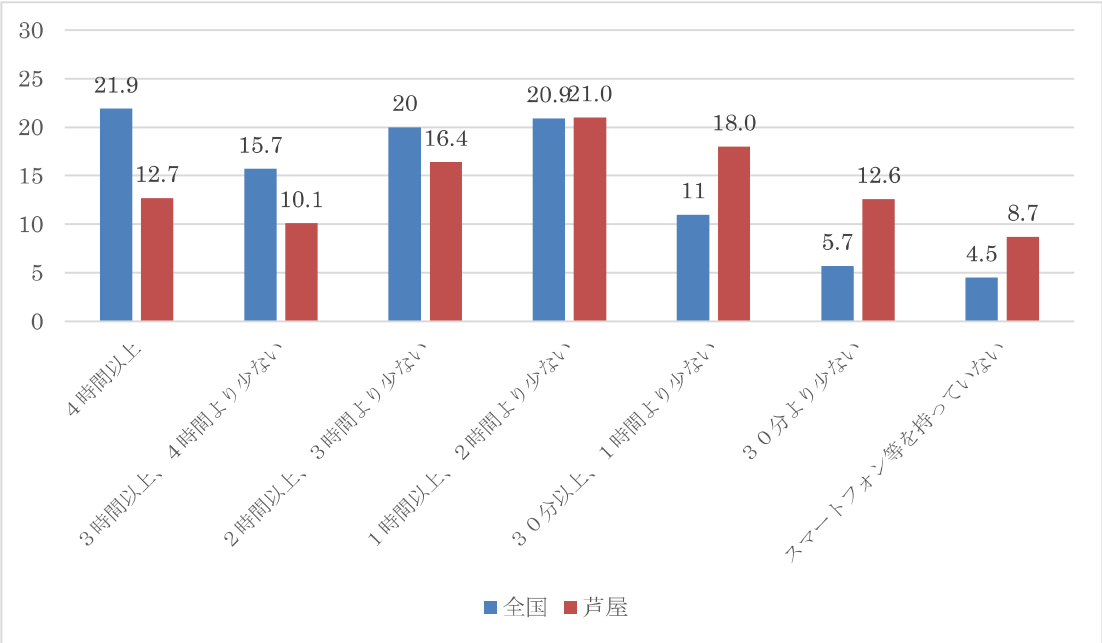
No.	質問事項	区分	小学校	中学校
76 中	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	芦屋市		別項にて グラフ表記
		全国		
78 中	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた。どちらかといえば行われていた。	芦屋市		87.1
		全国		85.1
79 中	１、２年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	芦屋市		86.4
		全国		82.8
80 中	１、２年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	芦屋市		別項にて グラフ表記
		全国		

No.	質問事項	区分	小学校	中学校
71 小	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたい。どちらかといえばしたい。	芦屋市	43.6	
		全国	45.4	
72 小	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどの ICT 機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	芦屋市	53.0	
		全国	46.2	
73 小	家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか	芦屋市	別項にて グラフ表記	
		全国		

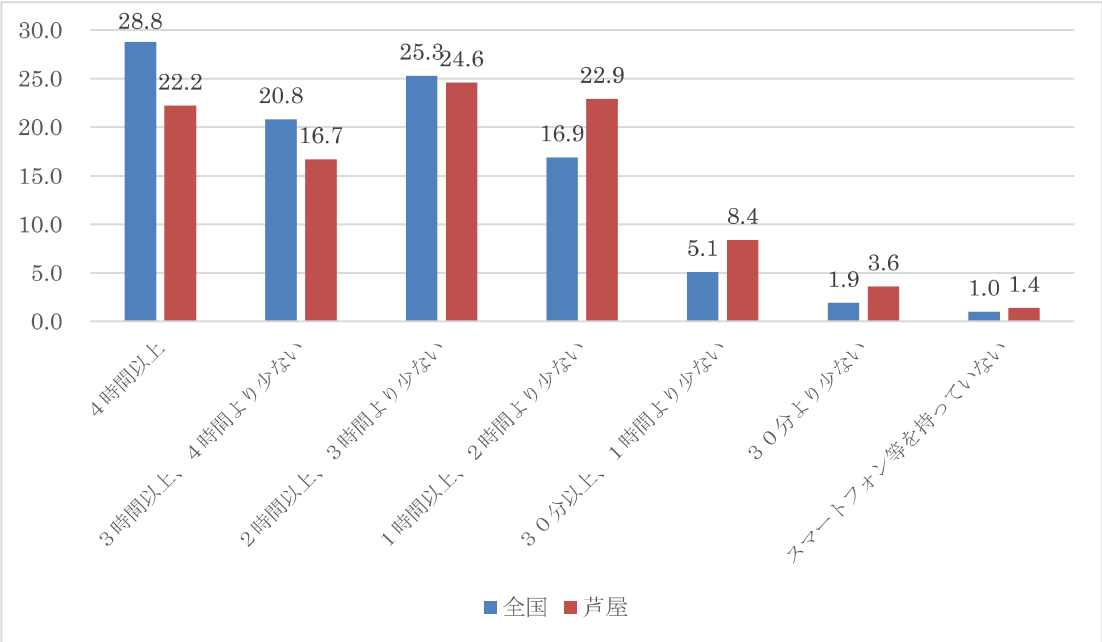
８　児童生徒の生活習慣や学習習慣に関する質問紙調査結果（別項）

４．普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、スマートフォン等で SNS や動画視聴などをしますか。（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）

小学校

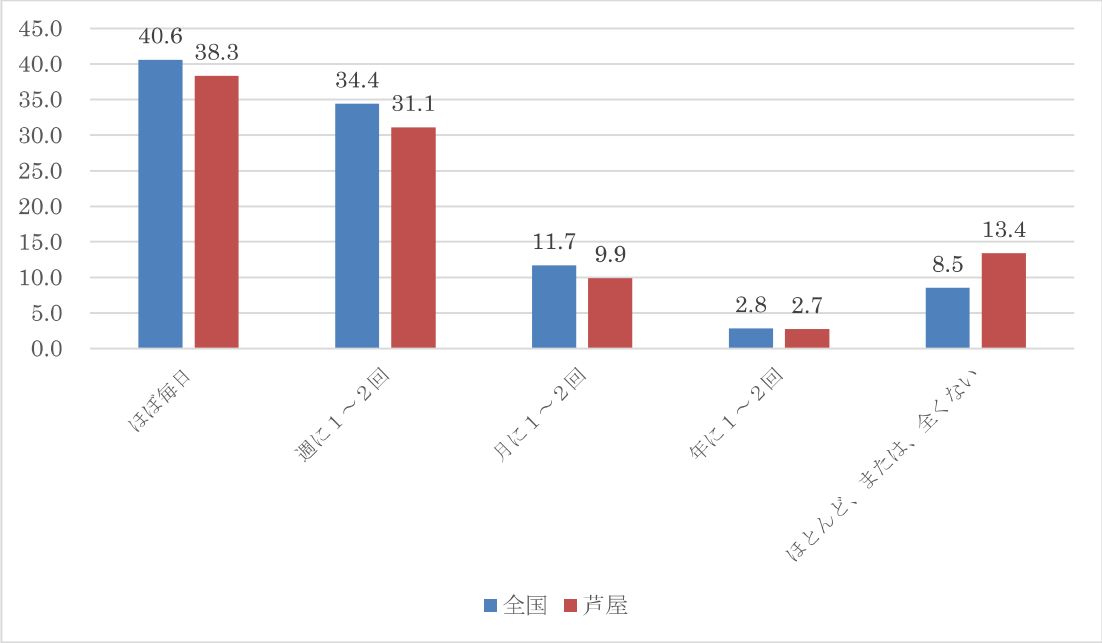


中学校

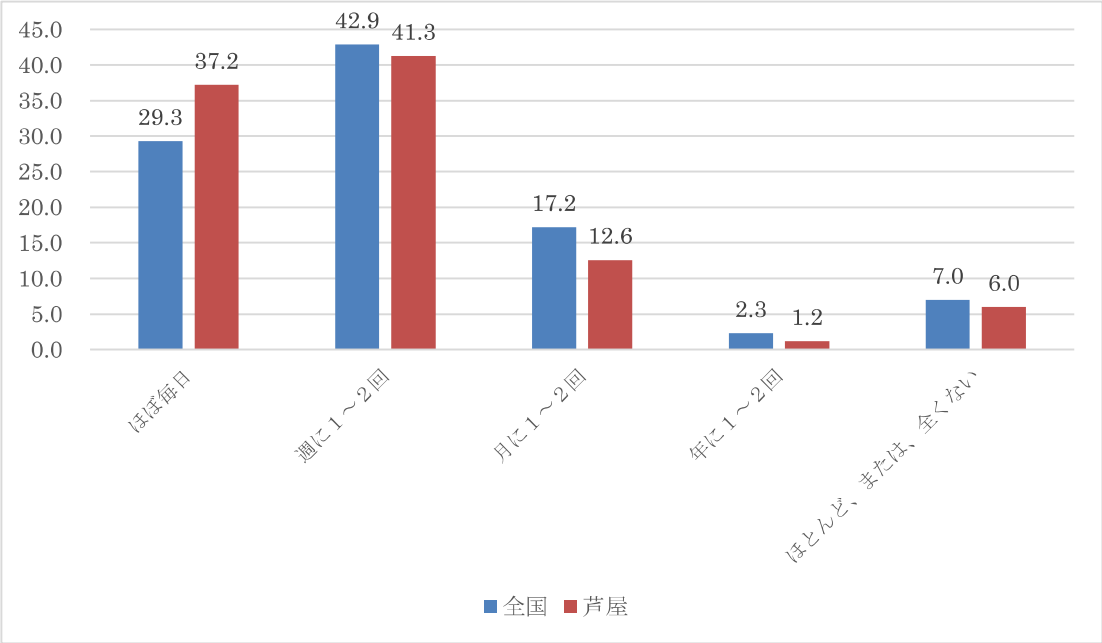


６．学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

小学校

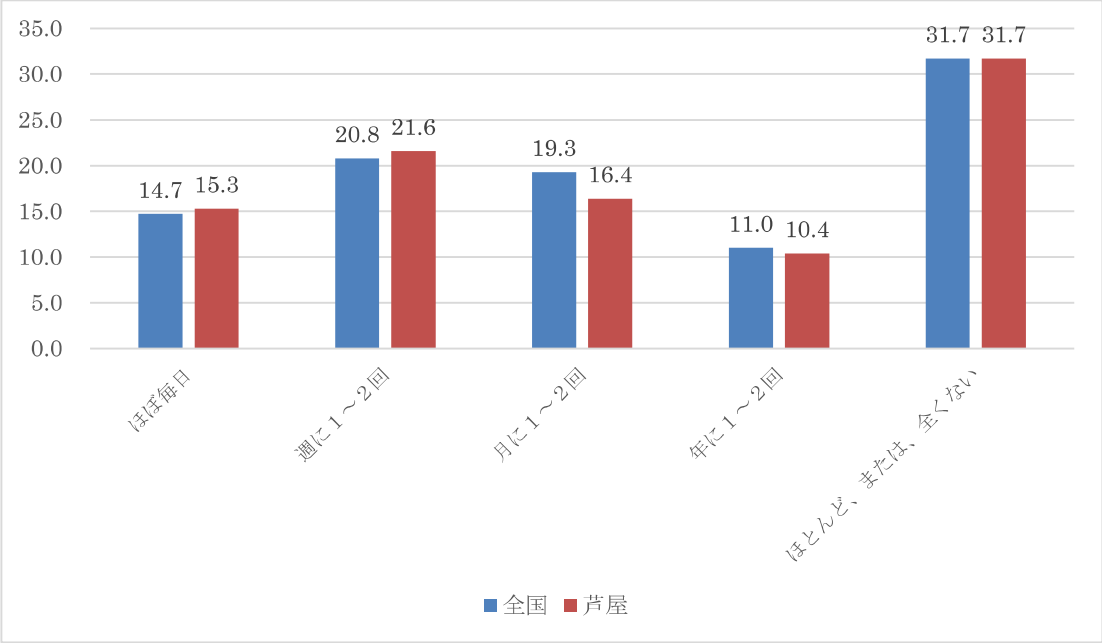


中学校

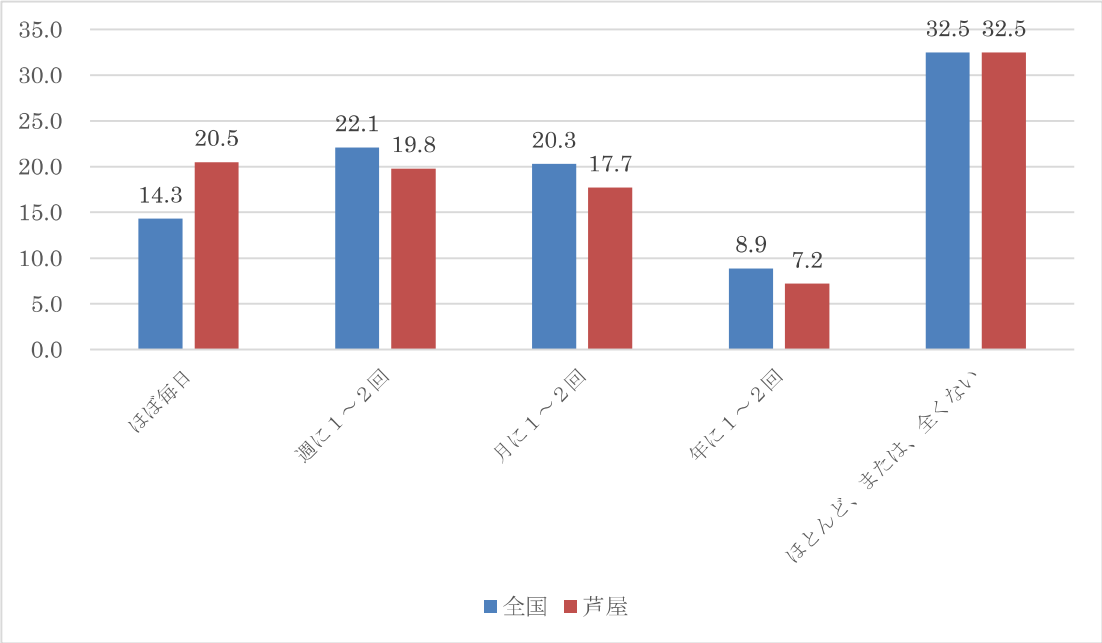


７．学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。

小学校

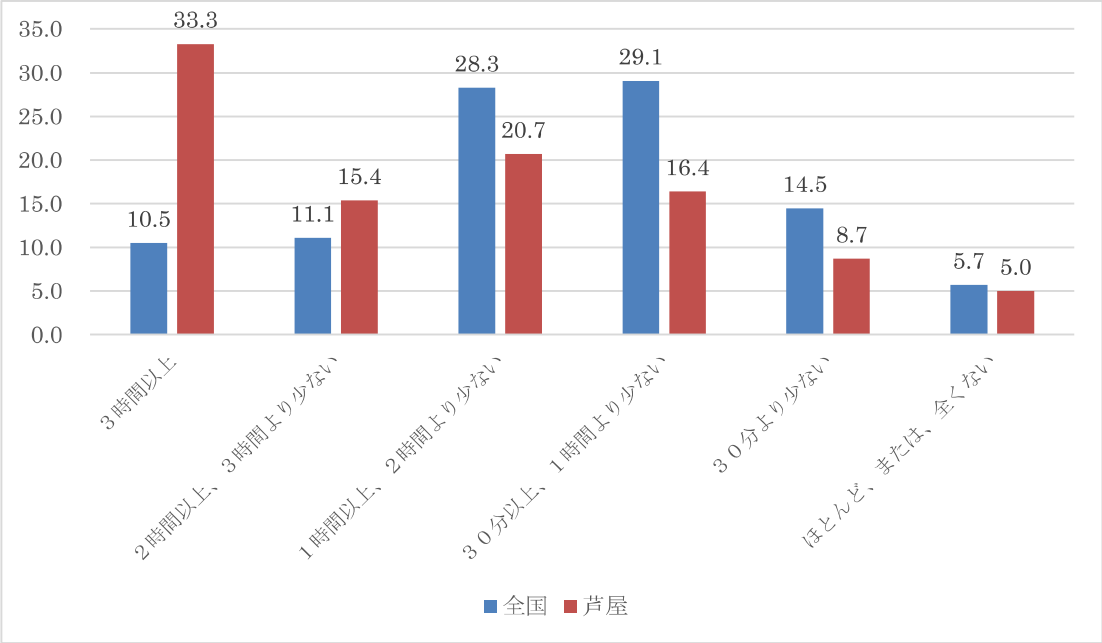


中学校

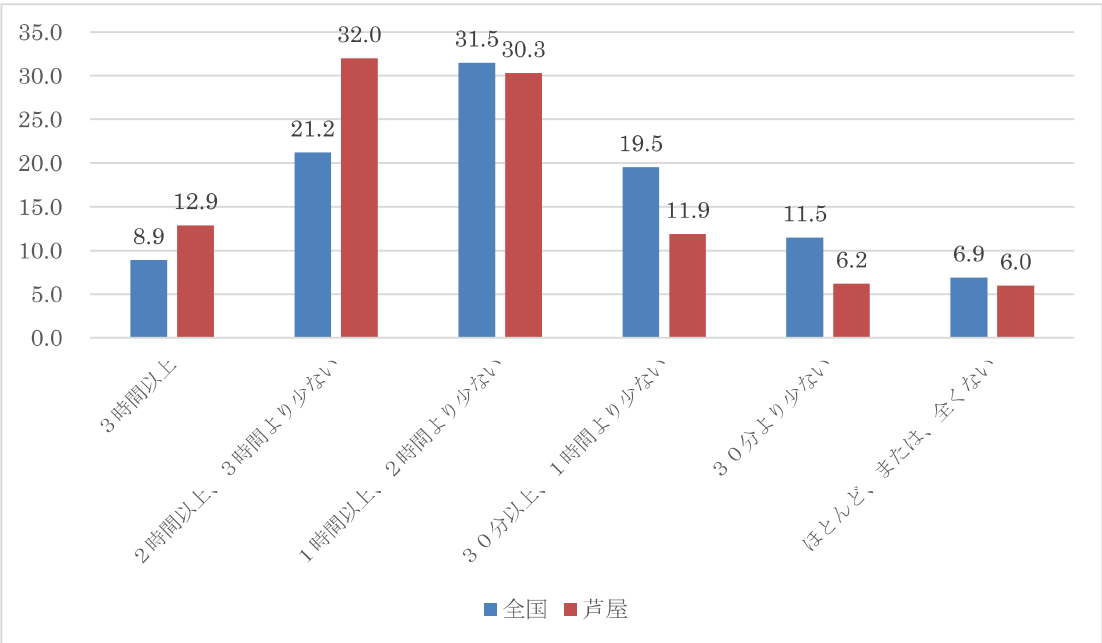


２３．学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

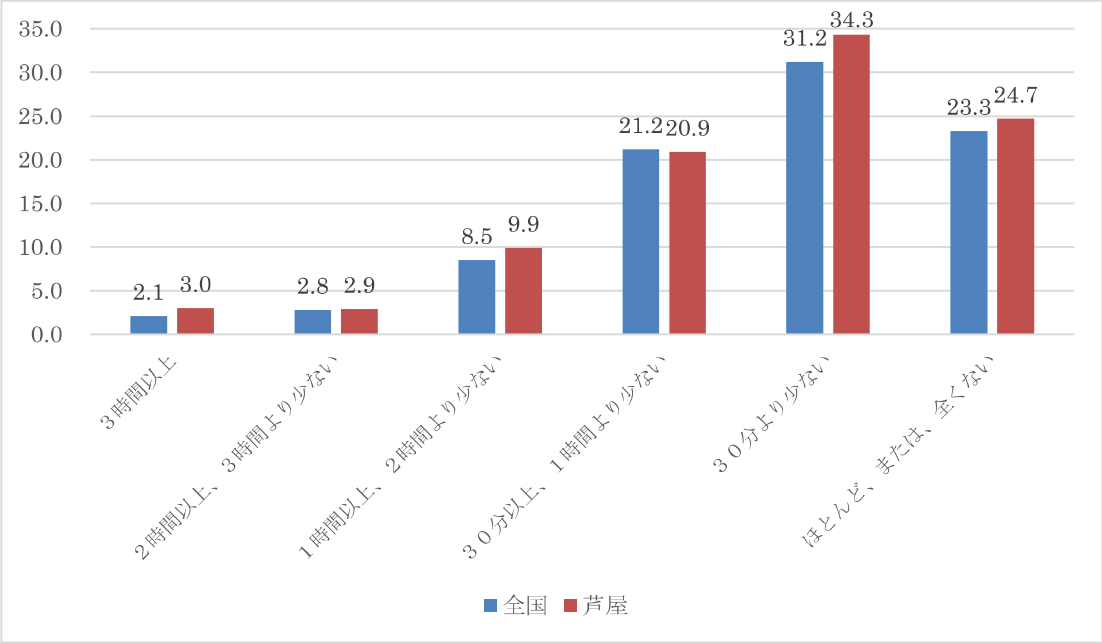


中学校

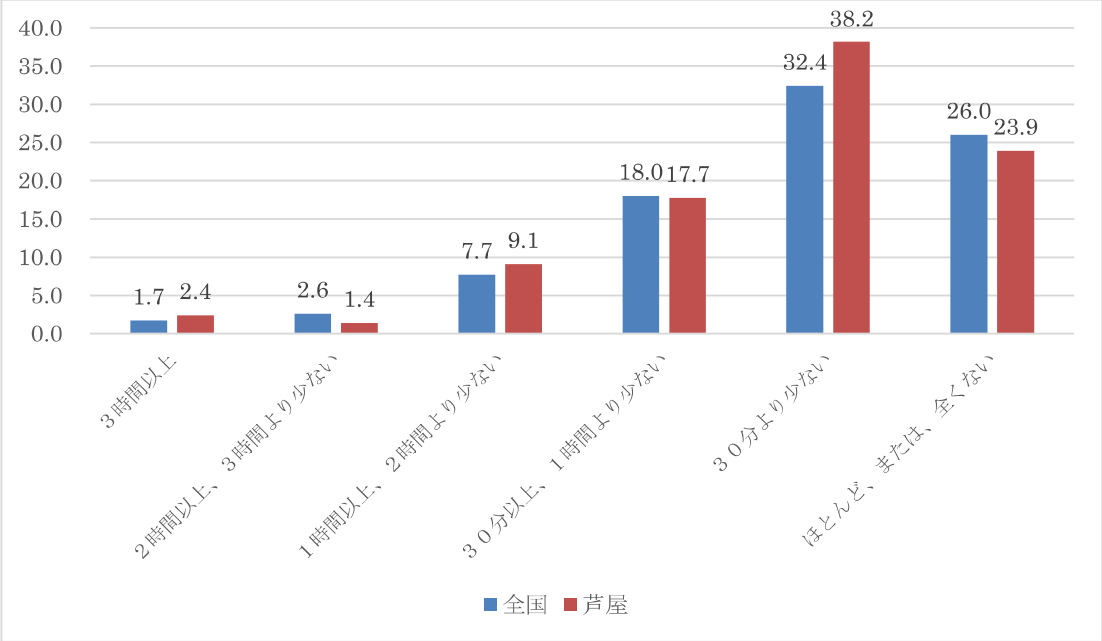


２４．学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）

小学校

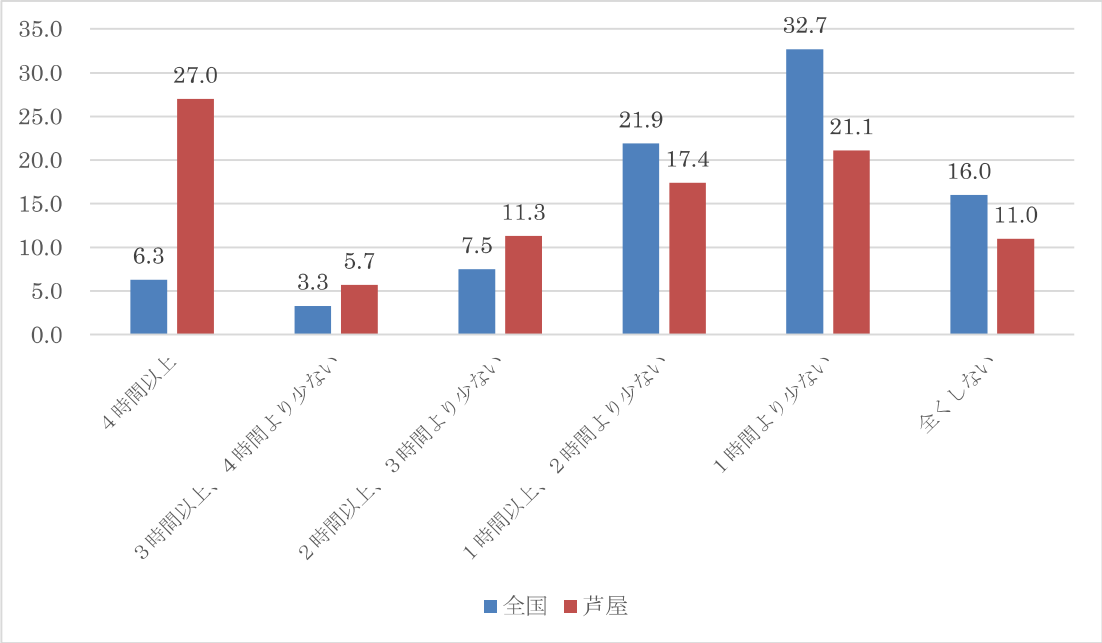


中学校

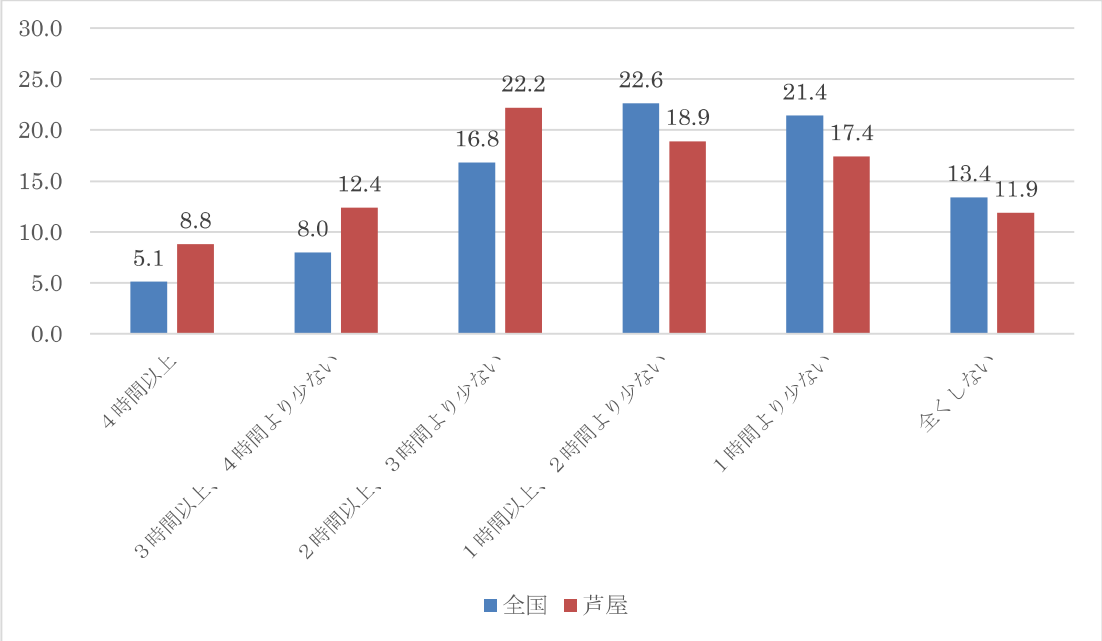


２５．土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

小学校

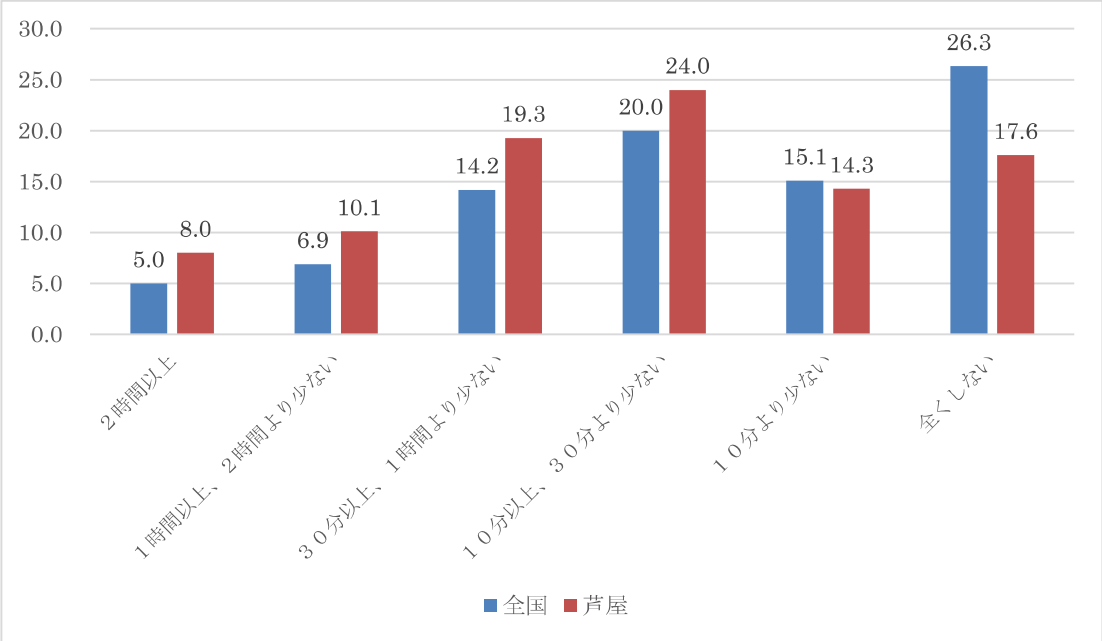


中学校

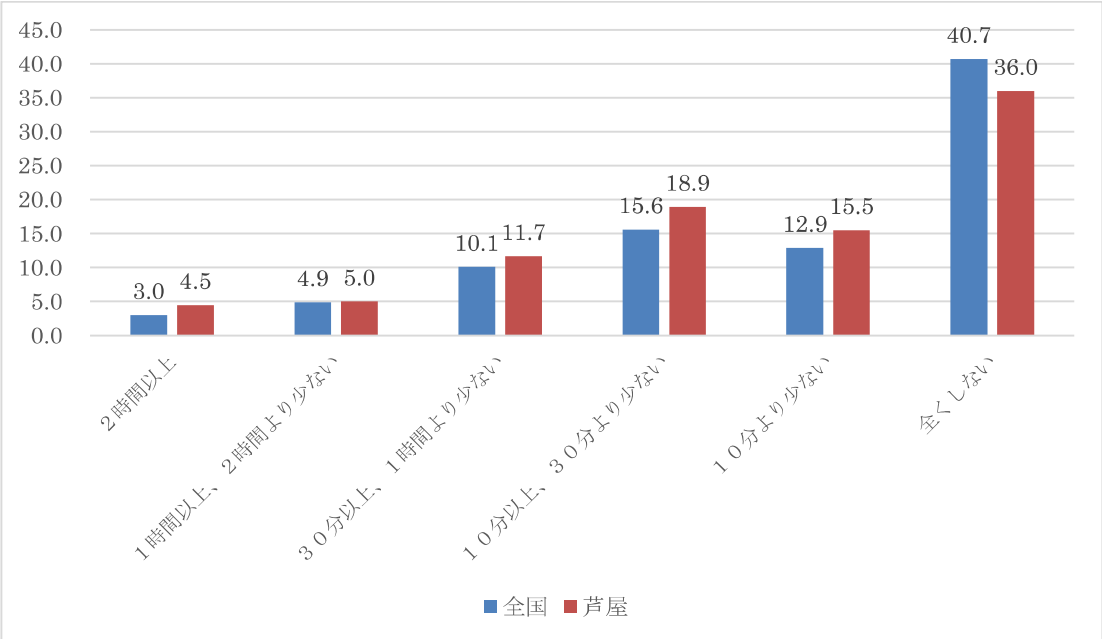


２６．学校の授業時間以外に、普段、１日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

小学校

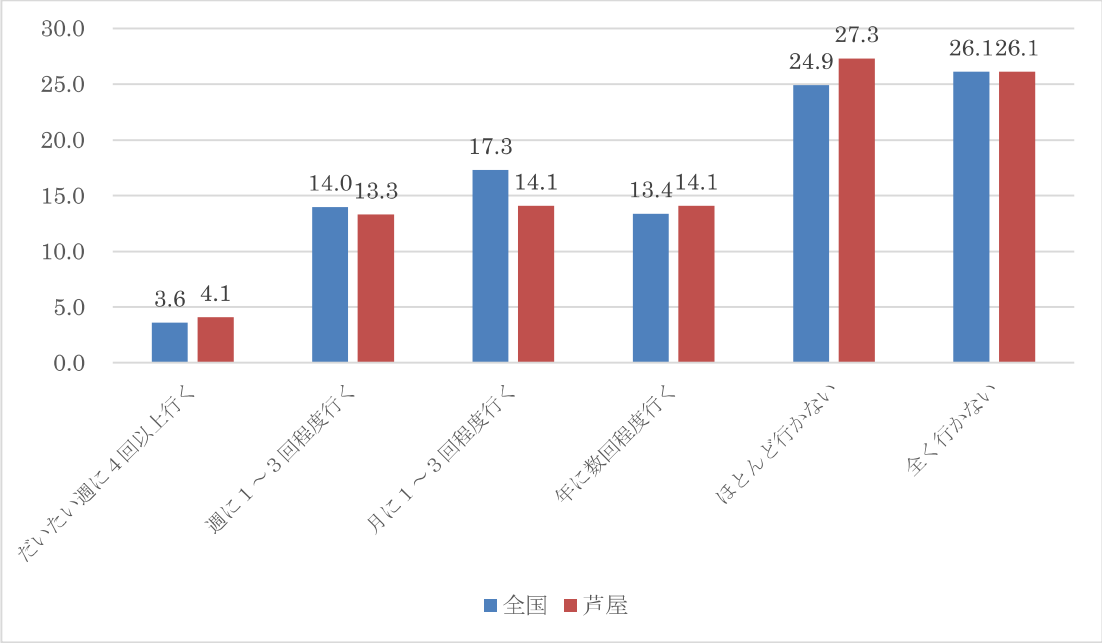


中学校

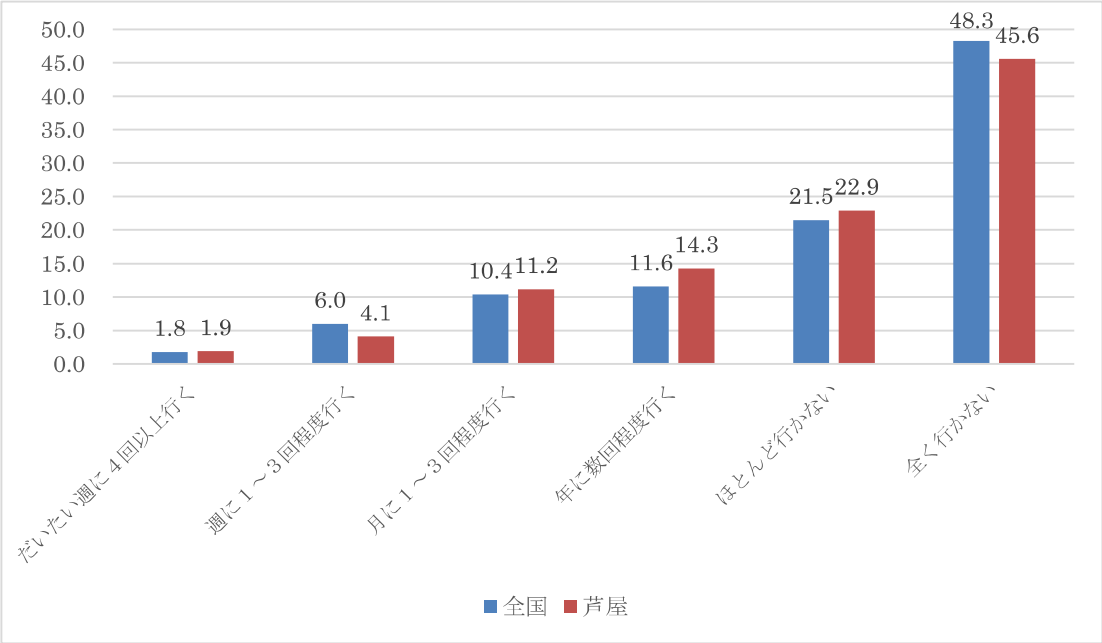


２７．昼休みや放課後に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか。

小学校

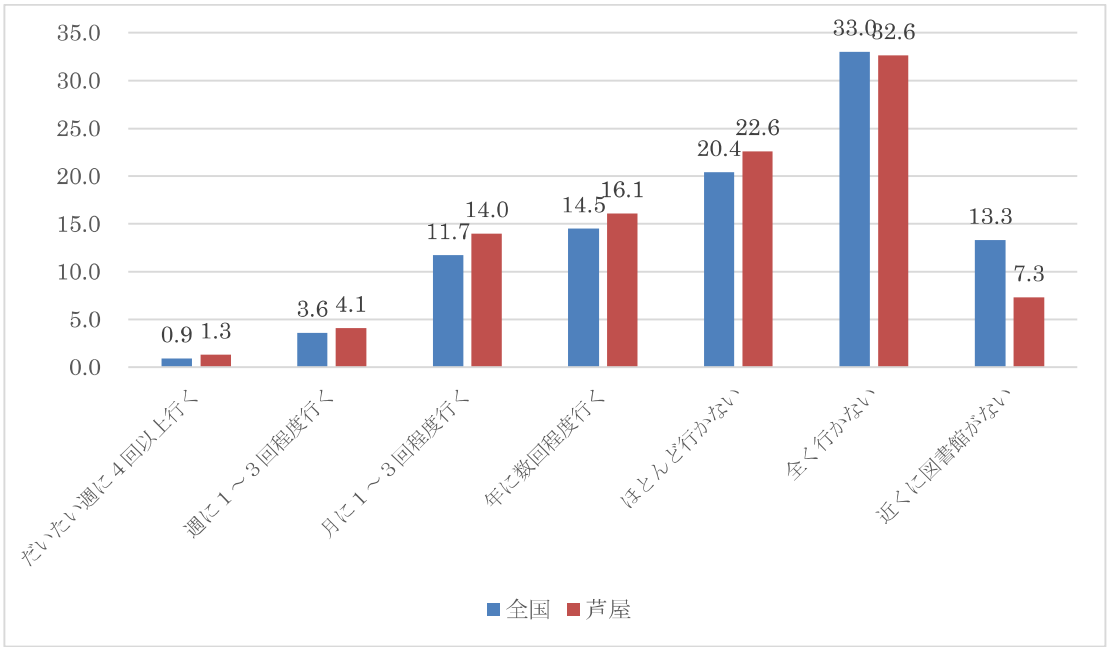


中学校

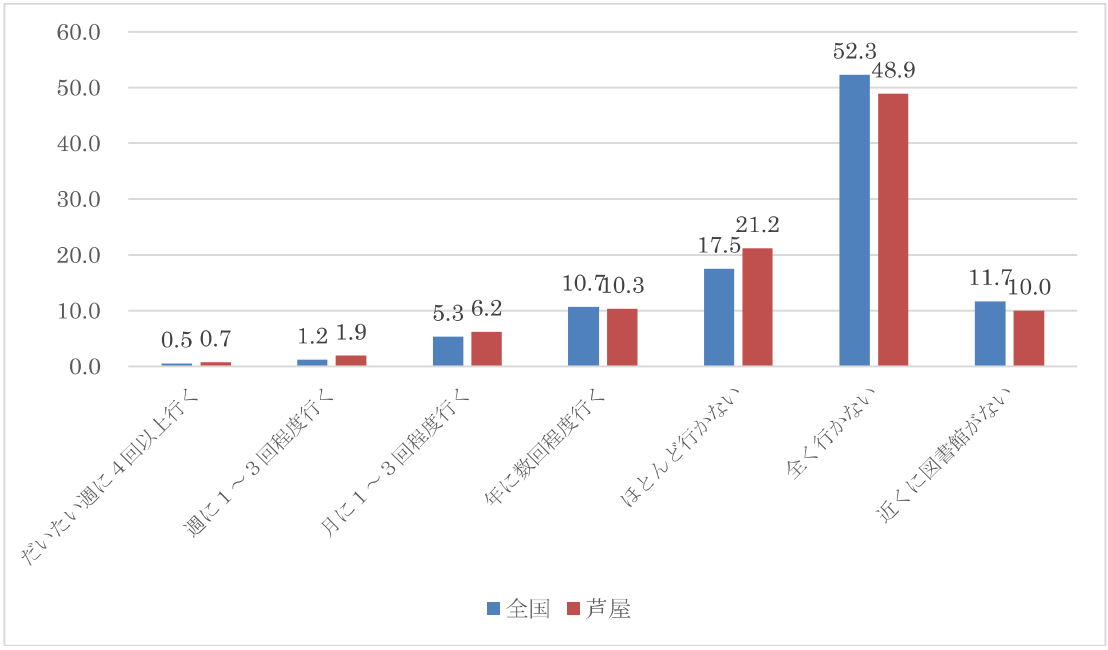


２８．放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか。

小学校

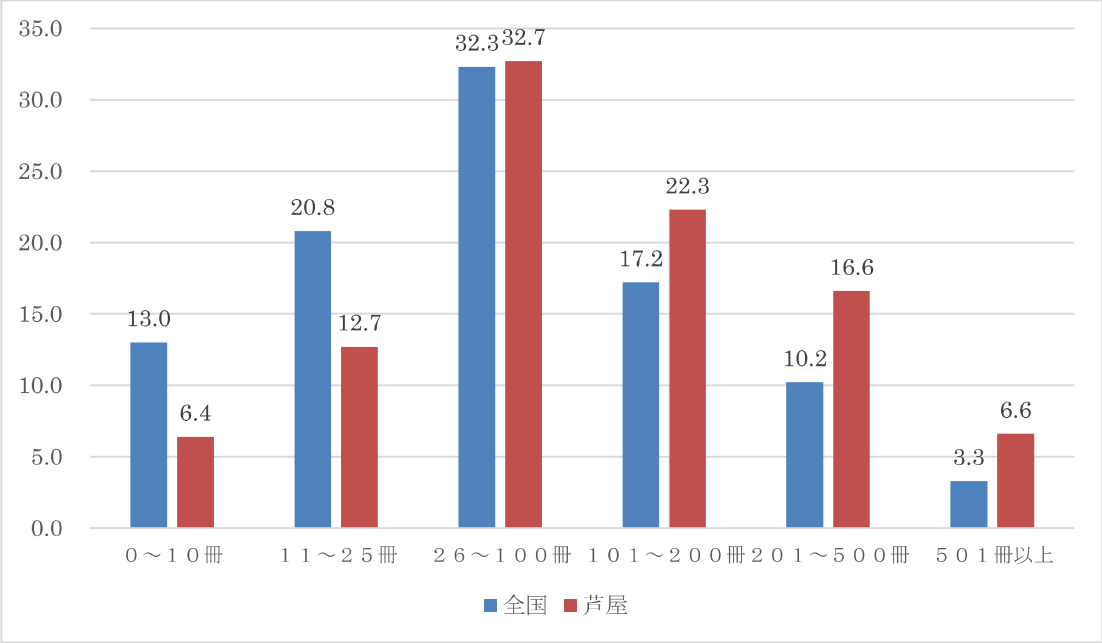


中学校

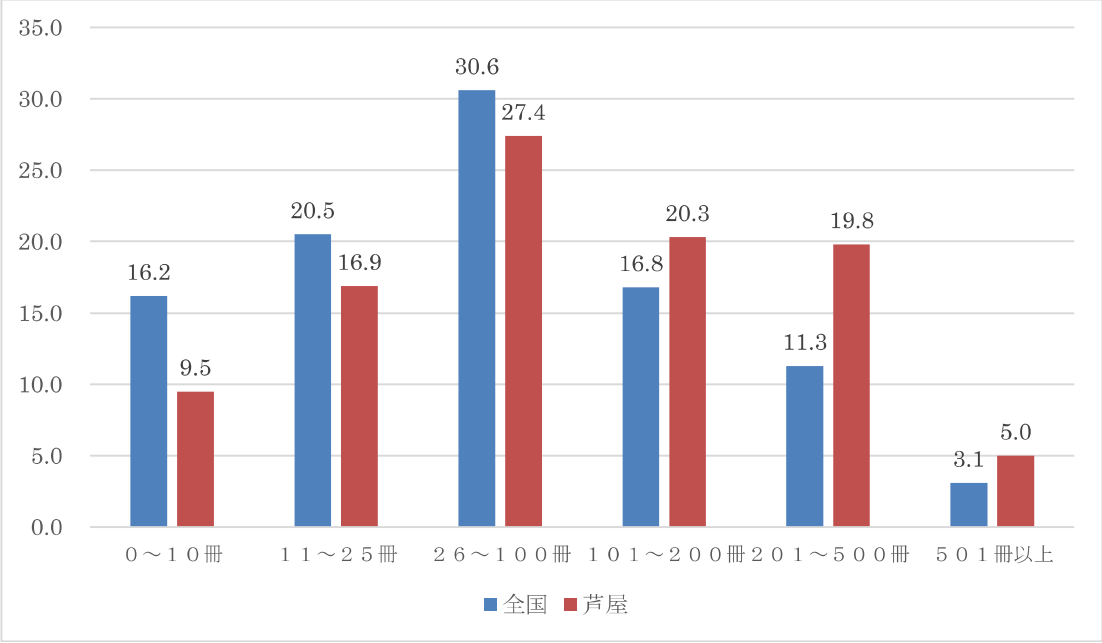


２９．あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。

小学校

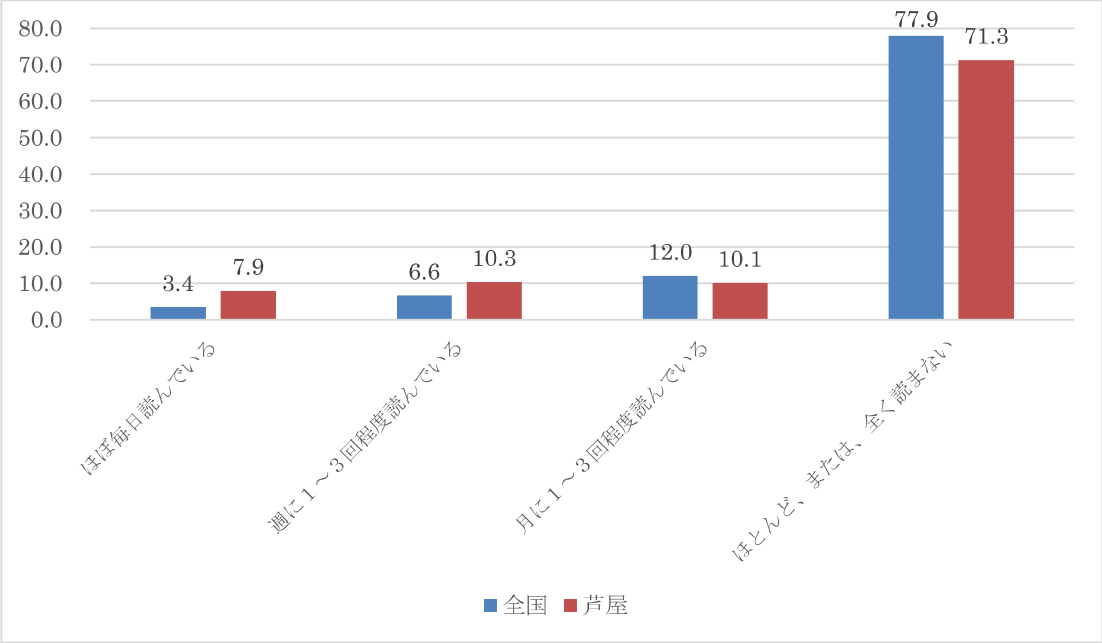


中学校

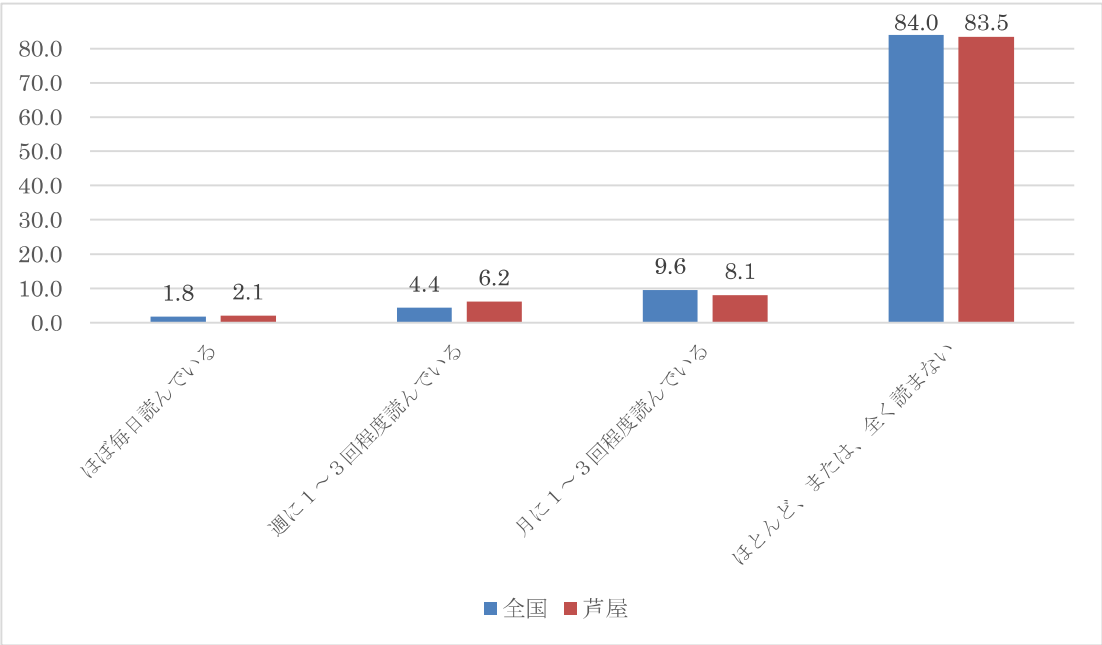


３０．新聞をどれくらい読んでいますか。

小学校

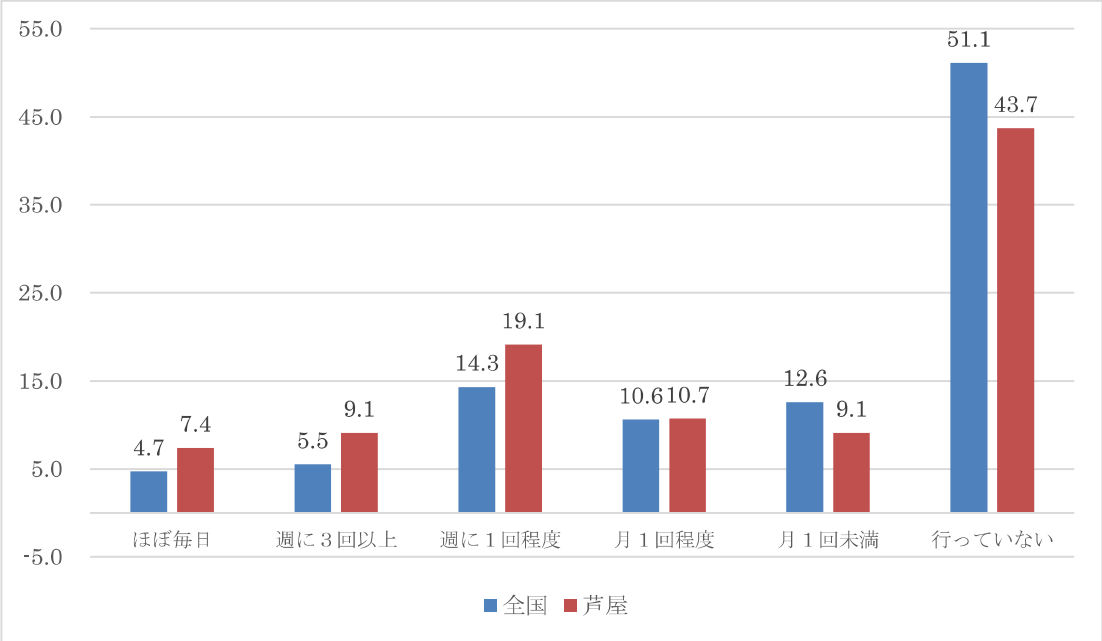


中学校



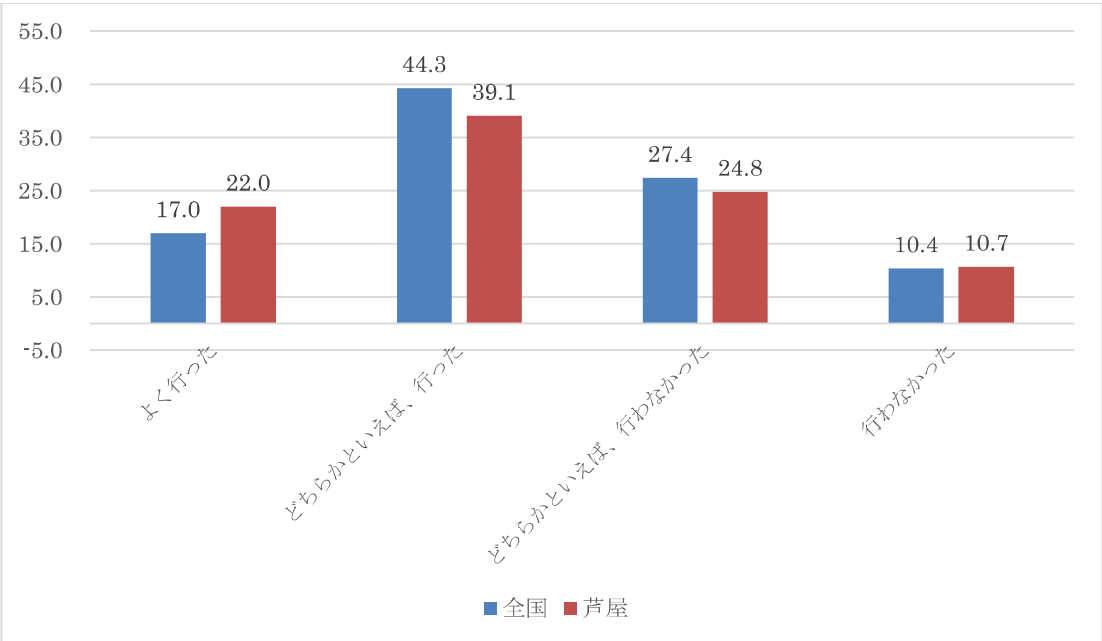
７６中．家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

中学校のみ



８０中．１、２年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか。

中学校のみ



７３小．家庭学習の課題（宿題）として、どの程度、PC・タブレットなどの ICT 機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか

小学校のみ

